

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

(有)ツキシマ企画様 貸施設

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目	評価点	重み係数	内 訳							
<b>■1.「地球温暖化対策」の推進</b>										
<b>1.1 建物の熱負荷抑制</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.10	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	3	外皮性能
外壁 ALC板パネルt=100張り<縦張ロッキング工法>下地処理の上	3.0	0.18								
ウレタン樹脂弾性吹付タイル塗装 屋根 塩化ビニル樹脂シート	3.0	0.72								
防水t=2.0・外断熱材:硬質ウレタンフォームt=25	小計	3.0	0.21							
<b>1.2 自然エネルギーの利用</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	2.1	自然エネルギーの直接利用		
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	2.2	自然エネルギーの変換利用		
	小計	3.0	0.10							
<b>1.3 設備システムの高効率化</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□	4.2	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化				
	小計	4.2	0.15							
<b>1.4 設備システムの効率的運用</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.1	モニタリング		
	4.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.2	運用管理体制		
	小計	3.5	0.10							
<b>1.5 資源・マテリアル対策</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水		
アスファルト舗装に再生砕石を使用した	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	1	雨水利用システム導入の有無
	3.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	2	雑排水再利用システム導入の有無
	2.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減		
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用		
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		
	2.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材		
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		
	小計	3.0	0.30							
<b>1.6 ライフサイクルCO2排出率</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮				
	小計	3.0	0.13							
<b>1.「地球温暖化対策」の推進の評価</b>	<b>3.2</b>	<b>0.72</b>								
<b>■2.「ヒートアイランド対策」の推進</b>										
<b>2.1 温熱環境の向上</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	2.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出				
緑地を設置し、ヒートアイランド対策を図った。	3.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上		
	3.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善		
	小計	2.5	0.96							
<b>2.2 交通負荷抑制</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	4.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制
駐車台数を19台確保するとともに、来客用出入り口と従業員出入り口に分け、渋滞緩和を図った。	小計	4.0	0.04							
<b>2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価</b>	<b>2.6</b>	<b>0.18</b>								
<b>■3.「長寿命化対策」の推進</b>										
<b>3.1 耐用性の向上</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	1	耐震性
	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	2	免震・制振性能
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	1	躯体材料の耐用年数
	2.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔
	3.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	4	空調換気ダクトの更新必要間隔
	3.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	5	空調・給排水配管の更新必要間隔
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	6	主要設備機器の更新必要間隔
	小計	2.9	0.70							
<b>3.2 設備の更新性</b>										
(コメント) ※設計の計画上添花に配慮した事項を記載してください。	2.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	2	給水配管の更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	3	電気配線の更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペース
各居室の配管は床下で設置して、他階への影響を考慮した。	小計	2.8	0.30							
<b>3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)</b>	<b>2.9</b>	<b>0.10</b>								
<b>重点項目の総平均(上記3項目)</b>	<b>3.1</b>									